



令和3年8月10日

各位

会社名 トラストホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 喜久田 匡宏
 (コード番号: 3286 東証マザーズ・福証Q-Board)
 問合せ先 取締役経営企画部長 北嶋 重晴
 (TEL. 092-437-8944)

特別損失の計上及び業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、下記の通り特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。また、令和2年8月7日に公表いたしました令和3年6月期通期連結業績予想と実績値との間に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社及び連結子会社の一部の固定資産において、減損の兆候が認められることから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理をし、減損損失 156,913 千円を特別損失に計上いたしました。

主な内訳は、飲食事業における各種設備 72,903 千円、温浴事業における施設建物 50,959 千円、駐車場設備等 25,777 千円等となっております

2. 連結業績予想と実績との差異について

(1) 令和3年6月期通期連結業績予想と実績との差異(令和2年7月1日～令和3年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,000	370	300	110	22.98
実績 (B)	12,337	△10	△83	73	15.27
増減額 (B - A)	△1,662	△380	△383	△36	
増減率 (%)	△11.9	-	-	△33.4	
[ご参考]前期実績 (令和2年6月期)	13,560	291	243	57	12.02

(2) 差異発生の理由

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛等の影響の長期化により、当社グループが運営する駐車場等の稼働状況の回復が年内と見込んでいたものが遅れたことにより、売上高が想定より減少しました。

営業利益および経常利益では、駐車場事業等の売上高の減少による影響のほか、メディカルサービス事業において、医療法人に対する貸付金の回収見込みについて、新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定の見直しを行い、貸倒引当金 192,961 千円を積み増したことにより、損失を計上する結果となりました。

また、令和3年3月に連結子会社が運営する駐車場の閉鎖に伴う営業補償金 600,000 千円を特別利益に計上しましたが、上記影響による損失を補填するには至らず、親会社株主に帰属する当期純利益においても業績予想値を下回りました。

以上